

にほんがいにし
日本外史

らいさんよう
頼山陽

〈原文・読み下し文〉

ぜんりやく　おおえやま　わた　おいのさか　いた
（前略）夜、大江山を度り、老坂に至

うせつ　すなわ　びっちゆう　おもむ
る。右折すれば則ち備中に走くの道

みつひですなわ　ばしゆ　は　し
なり。光秀乃ち馬首を左にして馳す。士

そつおどろ　あや　すで　かつらがわ　わた　みつひで
卒驚き異しむ。既に桂川を渉る。光秀

すなわ　むち　あ　ゆびさ　ようげん　いわ
乃ち鞭を挙げて東を指し、颺言して曰

わ　てき　ほんのうじ　あ
く、「吾が敵は本能寺に在り」と。